

◇ 令和4年度 指定管理者事業評価書

施設名	ロクハ公園等		指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	建設部	公園緑地課	初年度 97,174,970円	14,639,750円	133,191,603円	令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、プール事業をはじめ多くの事業が中止や縮小となり、利用料金が大幅な減収となった。	ロクハモデル適用により安心・安全に利用できるプール事業を展開し、デイキャンプ場利用申請などへITを活用した利便性の高いサービスを提供する。
施設HPアドレス	https://www.park-698.net/		2年目 97,015,000円	24,795,500円	146,071,292円	プール事業は5/15から9/30まで開場し、昨年と比べ入場者数は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響は引き続き利用料金収入は伸び悩んだ。	事業団と草津造園協同組合、(株)サンアメニティ大阪が三者で共同体を構成し、①施設を知り抜くプロの連携による「安全」「安心」「快適」の提供、②みどりのサポートセンター発の地域による地域のための公園づくり、③誰もが健康で幸せに暮らせる健康都市の拠点として地域コミュニティ活動と協働の公園づくりの3本柱を運営方針とする。
指定管理者名	公益財団法人 草津市コミュニティ事業団		3年目				
指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和6年3月31日		4年目				
評価対象期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日		5年目				

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
4	☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	利用料金制
指定管理者による運営開始日	平成18年4月1日
施設の供用開始日	昭和63年4月1日
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆
令和4年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
<p>市民からの問合せ・要望等の受付窓口の一元化や、利便性向上のために各種申請業務の電子化に取り組む。また、新型コロナウイルス感染症対策を十分に先行し、各種イベントやプール事業の運営をコミュニティ事業団、草津造園協同組合、(株)サンアメニティ大阪がそれぞれの専門性を活かして実施する。</p> <p>公園利用者数 99,300人 プール利用者数 73,500人(5/15オープン～9/30、新型コロナウイルス感染症対策なしの前提) 事業収益 138,620千円 事業支出 143,850千円 事業実施数 50事業(ロクハ荘などの連携事業を含む)</p>		<p>都市公園等の維持管理や、ロクハ公園プールの運営等について、仕様書・協定書等の基準を遵守し適切に実施されている。市民からの要望等については執行計画を作成し順次対応いただいているが、地元町内会等と適切な調整を図り更なる業務の執行を行っていただきたい。また、各種業務の電子申請フォーマットについては、より使いやすいものにするために利用者の意見を反映させる等の方法で随時アップデートを行っていただきたい。</p>	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
<p>市民からの問合せ・要望等の受付窓口の一元化に取り組み、執行計画を作成し順次対応を行った。また、利便性向上のために各種申請業務の電子化に取り組んだ。</p> <p>プール事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行う一方で、入場者数の制限は行わず5/15から9/30まで開園した。入場者数は6月下旬より増加傾向であったが、7月初旬より滋賀県内の新型コロナウイルス感染者数の急増とともに入場者数は減少傾向となりプール利用者数は目標の68%にとどまった。</p> <p>10月には緑化フェアを開催し、ロクハ荘と連携して開催したロクハ感謝祭と併せて、3日間で約7,000名の来場があった。</p> <p>公園利用者数 113,234人 (114%) プール利用者数 49,999人 (68%) 事業収益 139,661千円 (101%) 事業支出 146,071千円 (101%) 事業実施数 52事業 (ロクハ荘などの連携事業を含む)</p>		<p>(応募状況等) 施設管理に関して、高い管理技術と専門的知識、経済的運営を行う管理者を求めため公募による選定とした。</p> <p>(利用料金制について) 平成27年度から利用料金制度を導入している。 令和3年度と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数および利用料金収入が減少した。</p>	

◇施設に係る主な指定管理業務	
草津市都市公園条例第2条、草津市立ロクハ公園駐車場条例第3条、草津市児童遊園条例第3条に規定される管理業務	
(1)ロクハ公園などの利用に関する業務	
(2)ロクハ公園などの施設および設備の維持管理に関する業務	
(3)前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

履行の確認（施設全般の管理運営に関する業務）			
評価項目1	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価
	上半期評価	ロクハ公園プールにおいて、炎天下のなか入場券購入時に長蛇の列ができるため、新たに整理券発券機を導入して熱中症の予防と、密の回避を行い、利用者が安心して遊べる体制で運営することができた。また、自主事業として水泳教室の開催も行った。	上半期評価
	☆☆☆	カプトムシ観察会では十分な個体数確保と通年の管理ができ、新たに9名のカプトムシ飼育サポーターを募集して確保することができた。	☆☆☆
	下半期評価	刈草回収、環境緑化機器貸出、野外ステージやお花見広場などの利用申請は、これまでは利用者が公園事務所窓口にて訪問して手続きする必要があったが、ロクハ公園ホームページから24時間365日申請できるよう電子化を行い、利用者の利便性向上とスピードアップを行った。町内会等からの各種要望や依頼は、公園緑地課と内容や進捗状況を定期的に情報共有しているが、よりリアルタイムな情報共有を行う工夫が課題となっている。令和5年度においても、一層の管理強化に努め公園利用者の満足度向上に努める。	下半期評価
☆☆☆☆		☆☆☆	各種申請の電子化を行い、公園利用者の利便性の向上に努められた。公園の維持管理や植栽管理棟については、引き続き地元町内会等と適切な調整を図り更なる業務の執行を行われたい。

履行の確認（保守点検、清掃・維持管理、保安・警備および修繕業務）			
評価項目2	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価
	上半期評価	データに基づく保守点検の実現のため、費用制約により業者点検の対象外である全公園の椅子・テーブル実態調査を開始した。	上半期評価
	☆☆☆	また、4月に新規採用した職員のうち2名はチェーンソー有資格者であり、緊急性の高い植栽管理案件から対応を開始した。	☆☆☆
	下半期評価	町内会からの植栽の剪定・伐採の要望のうち、対応にチェーンソー使用資格が必要な案件が未対応となっていたが、有資格者の採用と育成により未対応案件を半減させることができた。今後とも要望などへの対応のスピードアップに努める。プール設備については専門業者による保守点検に加えて自主点検を行い流水プール底面の剥離など利用者に怪我のリスクがある箇所などをプール開場までに修繕した。また、市内300ヶ所以上の公園などに対して点検資格を有する専門業者による外構設備と遊具設備の点検を実施して、不具合内容に応じた修繕計画を策定した。	下半期評価
☆☆☆☆		☆☆☆	即戦力（有資格者）となる人員を雇用し、町内会からの要望等に迅速に対応できる体制を確保された。公園の維持管理や植栽管理について、引き続き適切な管理を行われたい。

サービスの質の評価（指定・自主事業の質）			
評価項目3	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価
	上半期評価	野外ステージを利用した音楽系イベントとして「ロクハ木陰の散歩道コンサート」や「ロクハミュージックジャンボリー」などの定期開催を開始した。	上半期評価
	☆☆☆	また、ロクハ荘との協働事業でロクハ実験農場をカプトムシ観察会前に設置して、草津市農林水産課や立命館大学と協働で草津市の伝統野菜「山田ねずみ大根」の栽培を開始した。ガーデニング事業では、まちづくりセンターなどへの新規顧客開拓アプローチができた。	☆☆☆
	下半期評価	四季折々のロクハツアーやウォッチングシリーズなどのふれあい事業（全19回）は毎回好評を頂いている。ご依頼者の会場で開催する駆付け型講座を含めガーデニング講座を7回実施した。	下半期評価
☆☆☆☆		☆☆☆	駆付け型のガーデニング講座を各地域のまちづくりセンター等で実施され、緑化の啓発に努められた。ロクハ公園プールに関するアンケート調査を実施し、新型コロナウイルス感染症対策について8割以上の利用者から「満足」との回答を得られたことは、利用人数の回復に大きく貢献しているものと評価する。引き続き、公園利用者数の回復に向けて各種イベントの開催等に積極的に取り組まされたい。

サービス安定性の評価（事業収益）			
評価項目4	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価
	上半期評価	プール収益増加のためInstagramやFacebookによる情報発信に努め、danceFHグループによるプールサイドショーの開催（2回）、整理券方式による利用者の利便性改善を実施した。	上半期評価
	☆☆☆	また、直接収益増には繋がらないものの、刈草回収、環境緑化機器貸出、野外ステージやお花見広場予約申請等の手続きをロクハ公園HPから実施できるシステム開発を開始し、利用者の利便性向上の実現とともにスタッフの負担低減を図った。	☆☆☆
	下半期評価	令和4年度中に諸準備を行い、令和5年4月から市内児童公園2か所へ新規に自動販売機を設置する事が出来た。また、ドッグランをはじめ9項目の収支改善アイデアを創出し、ドッグランは令和5年度に開始予定。	下半期評価
☆☆☆	ロクハ公園のHPやSNSなどでイベントの情報収集が出来るよう発信力を高められた。今後も発信する掲載文やポスター作成において人目を引くワードや見出し、写真の撮り方に工夫を凝らし集客につなげていく。	☆☆☆	新型コロナウイルス感染症の影響で、近年は公園利用者やプール利用者が減少傾向にあったものの、SNS等でイベント等の再開の情報発信を行う等して利用者数の回復、ひいては事業収益の増収に努められた。